

分科会の手引き

全連小北海道大会

1. 分科会の進め方

- 全ての分科会でグループ協議を行います（1グループ6名程）。
- 全席座席指定とします。座席については別紙の座席表をご確認ください。
- 研究発表の協議後に休憩時間を10分間とります。グループ協議中の休憩につきましては、各グループで適宜お取りください（10分程度）。
- グループ協議内容の発表は、各視点2つのグループに代表して発表していただきます。グループ協議終了5分前に発表する計4グループについてお知らせします。

2. 分科会の流れ

12:50	各グループで自己紹介・名刺交換	10分
13:00	開会（担当者紹介，司会者挨拶，協議の進め方）	10分
13:10	趣旨説明	10分
13:20	研究発表（視点1）	20分
13:40	研究発表（視点2）	20分
14:00	研究発表についてのグループ協議（視点1・視点2）	15分
14:15	研究発表についての全体協議（視点1・視点2）	15分
14:30	休憩	10分
14:40	グループ協議（視点1・視点2）	60分
15:40	全体協議（視点1・視点2）	40分
16:20	まとめと今後の課題	8分
16:28	閉会・連絡	2分
16:30	終了	

3. グループ協議の進め方

- 研究発表に対する参加者の感想や意見を集約して、課題解決の具体的な方策を検討します。
- 参加者の皆さんにグループ協議の役割を担っていただきます。
 - ・Aの方は司会，Bの方は記録とフリップ作成をお願いします。
 - ・今回のグループ協議の司会は北海道の方をお願いしています。
- 記録については、各テーブルに配布しました記録用紙をお使いください。
 - ・記録用紙は分科会のまとめの参考にします。終了後、テーブルに置いてください。
- 協議内容の発表に選ばれましたら、Bの記録担当の方に発表していただきます。
 - ・前に出てきて、フリップを投影しながら3分程度で述べてください。

4. グループ協議の流れ

- ①各視点の協議の柱にそって、一人ずつ意見を述べます。
- ②司会者を中心に、出された意見からキーワードを絞り、意見交換を行います。
- ③「校長として果たすべき役割と指導性」について協議し、意見をまとめます。
 - ※奇数グループは視点1を先に協議し、その後視点2について話し合います。
 - ※偶数グループは視点2を先に協議し、その後視点1について話し合います。
 - ※先に協議した視点について、Bの記録担当者がキーワードを基にフリップを作成します。できたら全体司会に渡してください。会場内に投影します。
 - ※時間の管理については司会の方をお願いします。

5. グループ協議 キーワード例

- ・シンプル・インパクト
- ・スピード&タイムリー
- ・掘り起こせばベテランの力
- ・完成予想図
- ・ゴールの明確化
- ・自己有用感・自己肯定感
- ・チーム力の向上
- ・学校改善は授業改善
- ・ミドルをつなぐ
- ・プラス1の訓練
- ・知恵を出させる
- ・スクラップ アンド ビルド
- ・WIN WIN となるためのビジョン
- ・組織づくり・人づくり
- ・モチベーションを上げる必要感・実感・達成感